

低い目標値の Ablation index を用いた高周波肺静脈隔離術における First-pass pulmonary vein isolation 予測因子解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究実施体制

代表研究機関	済生会熊本病院	循環器内科	岡松秀治
共同研究機関	弘前大学	循環器腎臓内科学講座	富田泰史

研究の目的と方法

心房細動に対するカテーテルアブレーション治療では、不整脈の原因とされる肺静脈を電氣的に隔離し、不整脈の出現を防ぐ治療を行います。高周波を用いたカテーテルアブレーション治療は、焼却の程度を示す値として Ablation index という指標を用いています。現在、世界的には確実な焼却が可能な高い Ablation index を用いることが一般的になってきていますが、過剰な焼却により合併症発症をもたらす可能性も報告されています。患者さんお一人お一人に適切な Ablation index が異なる可能性があります。この点に関してこれまで十分な研究は行われていません。

当院ではこれまで安全性を考慮し、比較的低い Ablation index にて治療を行ってきました。当院での過去の研究では、肺静脈の線状焼却が初回で治療が完成すること (First-pass pulmonary vein isolation) が、治療の確実性と関連していることがわかっています。今回の研究では、特に麻酔の種類にも着目し、低い Ablation index の治療でこれを達成できた患者様さんの特徴を調べます。この研究によって、患者さんによっては肺静脈の過剰な焼却を避けることが可能となり、安全な治療に繋がります。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

- ・2018年1月～2022年6月に済生会熊本病院で心房細動アブレーション治療を行った方
- ・2022年6月～2023年10月に済生会熊本病院で心房細動アブレーション治療を全身麻酔下で行った方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、心房細動の種類、基礎心疾患、血液検査の結果、服薬情報、心エコーデータ、アブレーション治療に関する情報（麻酔の種類、時間、肺静脈再伝導の有無など）、治療経過に関する情報

利用開始予定日：研究実施許可日

研究予定期間

2023年11月30日～2025年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、氏名等の個人を特定する情報を削除し、許可された研究者のみが使用します。共同研究機関である弘前大学へは、集計・解析された結果のみを提供しますので、個人情報を経済会熊本病院以外へ持ち出すことはありません。ご協力いただいた方のプライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 岡松秀治

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用・提供されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用・提供を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	経済会熊本病院 循環器内科 岡松秀治 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---